

# 相原中学校だより

第9号  
H30.1.9

## 習慣をつくる

校長 江戸谷 智章

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申しあげます。

平成30年の幕が開けました。この3学期はこれまでの成果や課題を検証し、いよいよ進級や進学、また新たな社会へ確かな一歩を踏み出すための準備と総まとめを行う時期となります。

これまでも生徒たちには始業式等の場面で、「学校生活に限らず、これまでの自分としっかり向き合い本気で何かに挑戦し、人としての幅を広げてほしい」と話をしてきました。自分の殻を破ろうと何かに挑戦をしたとき、時に苦しみを伴うこともあります。けれど、たとえ納得のいく結果が出なくとも、自分自身で心に決め行動に移したという事実が、必ず次の原動力につながるものと信じています。

さて、人はおうおうとして楽な方へと流されやすく、ましてや、今頑張っていることがすぐに結果として表れないと悲観的に考えてしまい、努力も長続きせず終わってしまうことがあるように思います（私の場合だけかもしれませんが・・・）。

「性相近 習相遠（性相近し習相遠し）」という言葉があります。これは論語の中に出てくる言葉で、「人の生まれつきの素質は、そんなに違いのあるものではないけれど、生まれた後の習慣によって大きな隔（へだ）たりができるものである」というような意味があります。一日一日の何気ない言動が積み重なり、やがて習慣となって10年後、20年後の自分を形成していく・・・ある意味とても怖いことのようにも感じます。

言うまでもなく私たちはこの数十年間、人それぞれの環境の中で様々な経験を積み重ねて生きてきました。私に至っては五十も半ばになり、一度身についた悪しき生活習慣がなかなか改善できず、「あの時〇〇していれば・・・」などと相変わらず後悔の念に苛まれていたりします。また、習性とは恐ろしいもので、物事の考え方や判断が固定的になり、生徒たちの思いもよらない柔軟な発想に驚かされたりすることもめずらしくありません。



人は同じ様な条件の中にも、ある人は辛くて苦しいと語り、ある人は平然と事をこなしてしまうのは何故なのでしょう。できることなら楽をしたいと思う気持ちは、悪いことではないと思います。けれど承知のとおり、人生は追い風ばかりが吹いているわけではないし辛く悲しいことや怒りに震えることも、また人前で恥ずかしい思いをすることも避けては通れないと思います。ただその時の感情に必要な以上に振り回されず、しっかりと自分自身で受け止めていく冷静さも一方で身につけていかねばならないようにも感じています。

「あの時あれだけ頑張れたのだから、今回だって」と言える自分でありたいと常々思っています。そのためにも、誰にも平等に与えられた50日あまりの3学期。目の前に起きていることから目をそらさず、自分をごまかすことなく、1日1日を丁寧に過ごしていければと思っています。

「あの時あれだけ頑張れたのだから、今回だって」と言える自分でありたいと常々思っています。そのためにも、誰にも平等に与えられた50日あまりの3学期。目の前に起きていることから目をそらさず、自分をごまかすことなく、1日1日を丁寧に過ごしていければと思っています。



3年生から10年ほど昔、ある国を旅行した時のことです。着いてから、道路の様子が日本と何かが違うなあと思っていました。その違和感が何なのかは、なかなかわかりませんでした。滞在二日目にわかりました。道路に信号機がほとんどないのです。

道路を車が走っていないわけではありません。でも信号機がない。どうしたら安全に向こうに渡れるのか……。思案しながらしばらく歩いても、横断歩道すらありません。仕方なく、車の途切れを見て渡ろうと道路に向いたそのときです。1台目に走ってきた車が止まってくれました。幸運と運転手に感謝しつつ渡りましたが、その後、すぐわかりました。この国では渡ろうとする人がいると、車が必ず止まるのです。



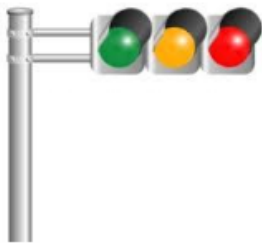
これは衝撃でした。この国に信号機がほとんどないのは、必要ないからなのです。日本では残念なことに、横断歩道で待っていてもなかなか止まってくれません。実際、平成26年のJAF（日本自動車連盟）の運転者へのアンケートでも9割が停止しないと答えたそうです（ちなみに、車両には横断歩道における歩行者・自転車に対する譲歩優先義務（道路交通法第38条）があるので、本当は止まらないのは違反なのですが）。

歩行者がいたら止まってあげる。そんな当たり前のマナー（正確にはルールですが）を無視した結果、信号機という強制的なルールが設置され、信号機だらけの道路が作られ、結局、車はスムーズに走れないのです。

このことは、学校生活についても同じだな、と感じました。高校は中学校に比べ、持ち物や服装のルールは緩やかなところが多いです。でも、それは「いちいち信号機がなくても、当然のマナーは守ってくれることが前提」なのではないかと思います。携帯電話を持ってきてもよい高校があります。でも、それは「授業中に携帯電話をいじったりはしない」という前提。制服のない高校があります。でも、それは「高校生として恥ずかしくない服装で来る」という前提が、あるのではないのでしょうか。

社会に出たときに、何が「当然のマナー」なのか。それを学ぶ場が義務教育であり、義務教育を修了した人は、いちいちルールに書いてなくてもきちんと行動することが求められるのです。

さて、いよいよ3学期に入りました。これまでの学びで、相原中生としてどう振る舞うべきか十分にわかっていると思います。当たり前のことを最後まで当たり前に。そして自信を持って次のステージに進みましょう。



## 1月の主な日程

### 平成30年1月

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1日（月）平成30年元旦          | 15日（月）1年生道徳強化月間（～2／6） |
| 9日（火）3学期始業式 諸活動なし     | 諸活動なし                 |
| 10日（水）学級プログラム委員会      | 17日（水）生徒会専門委員会        |
| 最終下校17：00             | 19日（金）生徒会代表議会         |
| 12日（金）新入生保護者会（15：00～） | 22日（月）諸活動なし           |
| 13日（土）PTA運営委員会        | 24日（水）学級プログラム委員会      |
| 旭・大沢ブロック講演会           | 29日（月）諸活動なし           |
| （14：00～ 宮上小会場）        | 31日（水）生徒会専門委員会        |



※ 平成29年度第36回卒業証書授与式は、3月9日（金）に決定しましたのでお知らせします。